

今度はこれができる！

第16回（2014年9月7日）向け建設業経理士1級 財務分析出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	記述問題 ・財務分析の手法(総合評価法等)	記述問題 ・財務構造の特徴	記述問題 ・流動性分析
第2問	空所補充問題 ・資金変動性分析	空所補充問題 ・成長分析	空所補充問題 ・収益性分析
第3問	推定問題 貸借対照表と損益計算書の一部推定 ・固定長期適合比率 ・現金預金手持月数 ・棚卸資産滞留月数 ・総資本回転率 ・受取勘定回転率 など	推定問題 貸借対照表と損益計算書の一部推定 ・総資本営業利益率 ・自己資本当期純利益率 ・完成工事高総利益率 ・完成工事高経常利益率 ・資本集約度 など	推定問題 貸借対照表と損益計算書の一部推定 ・負債比率 ・金利負担能力 ・必要運転資金月商倍率 ・固定比率 ・労働装備率 など
第4問	生産性分析 ・労働装備率 ・設備投資効率 ・労働生産性 ・労働生産性の分解 など	生産性分析 ・労働装備率 ・設備投資効率 ・付加価値率 ・資本集約度 など	損益分岐点分析 ・損益分岐点売上高 ・損益分岐点比率(安全余裕率) ・変動費と固定費の区分 など
第5問	各種比率計算を中心とした総合問題 ・経営資本営業利益率 ・自己資本当期純利益率 ・完成工事高キャッシュ・フロー率 ・流動負債比率 ・未成工事収支比率 ・受取勘定滞留月数 ・借入金依存度 ・有利子負債月商倍率 ・純支払利息比率 ・支払勘定回転率 ・労働装備率など		

なぜ、こう予想した？

第1問は、記述問題が出題されますが、重点的に出ている論点というものはなく、万遍なく出題されています。近年では、生産性分析(第13回)、安全性分析(第12回)、健全性分析(第14回)、キャッシュ・フロー計算書の分析(第15回)などが出題されたため、これ以外の論点の中で、出題実績はありますが、近年出題されていない論点を中心に予想しました。

第2問では、毎回空所補充問題が出題されますが、収益性分析と生産性分析(いずれも過去2回)と、安全性分析(過去3回)が比較的多く出ています。また安全性分析は第15回試験で出題されています。第1予想に挙げた資金運用表と資金繰表は、第8回以降出題されたことはありませんが、できるだけ確認しておきましょう。

第3問は、毎回、貸借対照表・損益計算書の一部推定問題が出題されていますので、今回もこの傾向は続くと思われます。内容的には月数(月商倍率)、利益率、回転率、さらには従業員数と関連する資本集約度や労働装備率に関連する所が多く出題される傾向にありますが、問題を解き慣れておくことが重要です。

第4問は、過去を振り返ると付加価値に関する生産性分析か、損益分岐点分析のどちらかが出題されている状況です。15回では損益分岐点分析に関する出題がされているので、今回は生産性分析の出題可能性が高いでしょう。

第5問は総合問題です。予想に挙げた比率を中心に高得点を得られる様に、十分な対策をしておきましょう。全体的な対策としては、毎回出題されている特殊比率を中心に学習しておくことで、たとえ見慣れない特殊比率が出題されたとしても、応用的対応ができます。

合格目指して
ラストスパートだ！

